

12月18日に7人が一般質問をしました。

一般質問とは…議員が村長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など、諸問題について報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

一般質問項目一覧表

- | | |
|---------------------------|-------|
| ①上 田 光 彦 議員 | 5ページ |
| 1. 飛島村の農政を問う | |
| ②加 藤 光 彦 議員 | 6ページ |
| 1. 「ふるさと納税」にどのように対応していくのか | |
| 2. 自動運転の実証実験を村内で行うのか | |
| ③小 川 政 徳 議員 | 7ページ |
| 1. 飛島村地域防災計画を問う | |
| ④鈴 木 康 祐 議員 | 8ページ |
| 1. 飛島村地域福祉活動計画 | |
| 2. 保育料の無料化を | |
| 3. スポーツ大会の遠征費用は | |
| ⑤橋 本 涉 議員 | 10ページ |
| 1. 65歳以上の医療費を無料化せよ | |
| 2. 温水プールの温度等の管理をきちんとせよ | |
| ⑥渡 邊 一 弘 議員 | 11ページ |
| 1. 避難所の開設は | |
| 2. ランドセルは重すぎはしないのか | |
| ⑦伊 藤 秀 樹 議員 | 12ページ |
| 1. 地域子育て支援事業の充実を求める | |
| 2. 青少年のスポーツ環境を整えよ | |

ズバリ!!
村政を問う

一
般
質
問

皆さんの傍聴をお待ちしています

議会の詳しい内容は、図書館に備えてある会議録をご覧くださいか、
飛島村公式ホームページをご覧ください。

<http://www.vill.tobishima.aichi.jp>

Q 飛島村の農政を問う

A 皆様と十分話し合い、方向を決めていく



上田光彦 議員

問 基幹となる稲作について村の方針と目標は？

稲作農家の多くが今、その作業のほとんどを担い手に委託等をしているのが現状です。（村内1677世帯の約3割の550世帯が農家で、その6割以上が米作りを委託しています）
今後委託等が増加していくことが予想され、国も集積、集約を数値化して目標として掲げています。

飛島村としての将来のビジョンは？

答 ○村長

稲作を始めとする農業は、本村の基幹産業であると考えています。転作の助成や農地賃料への補てん、農業関係団体

活動、土地改良事業等多くの助成をしています。稲作については、担い手の方々に農地を集積、集約すべく、国が進めている農地中間管理事業を本村でも積極的に活用し進めていきます。



工事が進む名古屋第二環状自動車道

問 村内の農用地面積と、中間管理機構への預け入れ面積は？

答 ○経済課長

農用地面積約665ヘクタール、中間管理機構への預け入れ面積は約120ヘクタールです。

問 稲作については農地を所有しているものの、中間管理事業を通して担い手をお願いしている農家が今後増えていく傾向にあると思われま

す。一方、平成32年度に名古屋環状2号線が開通する予定であるが、開通前後にはその沿線付近は開発が進む可能性があります。

農地の保全も含めた都市計画区域での飛島村全体の土地利用の考えはあるか？

答 ○経済課長

飛島村全体で都市計画の中で、考えていく必要があります。

平成32年度に都市計画



担い手が減る稲作農家

マスタープランを改訂する予定があり、その中で農業との調和を図りつつ、村全体の土地利用を考えていきます。

問 平成32年度のマスタープランで考えを出しては遅いと思

います。農業を守り、かつ、農地を保全しつつ、エリアを絞って開発していくことが必要だと考えるか？

答 ○村長

飛島村では多くの農地に相当の国の経費を投入していただいております、そのお蔭で安全が成り立っていると言えます。これから飛島村がどうあるべきなのか、計画の中でしっかりと皆様と議論を重ね、意見を集約していかなければならないと思っています。

『ふるさと納税』に、どのように対応していくのか

A ふるさと納税の返礼品を募集します



加藤光彦 議員

の減収額は約430万円とのことであります。飛島村は返礼品にする特産品が少ない上に、財政豊かな村であることからふるさと納税を本村にしてみようことは容易なことではないと思います。

本村は今年度、ふるさと納税に関連して30万円ほど予算化していますが、今後どのような方針で進めていくのかお尋ねします。

答 ○村長

「ふるさと納税」については、ふるさとや自治体を支援するための寄附金制度という当初の趣旨を尊重し、これまで寄附を頂いた方に対しては、お礼状などで敬意を表してきたところです。

問 ふるさと納税の理念は地方で生まれ育って都会に出てきた人が、自分を育ててくれたふるさとへ恩返しするために、或いは応援したい自治体に税制を通じて貢献するというものです。しかしながら本来の趣旨から逸脱して地元に関係のない産品や家電製品、はたまた旅行券を返礼品にするなど自治体間で競争が過熱しています。その影響を受けてか平成30年度に本村へ納税されるはずだった税金



一方で、ふるさと納税をしていただいた方に、地域資源を活用した返礼品を送ることは、飛島村にとっても地域の活性化につながる良い機会と、とらえることができます。今後ふるさと納税制度の趣旨を尊重し、寄附額に対して過度にならず、かつ、地域の活性化につながるような返礼品を村内事業者の皆様から募集したいと考えています。なお、今年度中にはふるさと納税の返礼品対応

を開始させていただく予定で、返礼品の種類についても、順次充実させたいと考えています。

自動運転の実証実験を村内で行うのか

A 名古屋大学等との連携を目指す



名古屋大学の自動運転車両

問の中で「来年度、飛島村で自動運転車の実証実験を行う」との発言がありました。既に自動運転の開発に関わっていくことは決定しているのでしょうか。決定しているのであれば、どのように関わっていくのか説明を求めます。

愛知県は国家戦略特区の区域指定されたこともあり、県内でも多くの自治体が自動運転の実証実験を行っています。そんな中、本村で行われよう

いずれにしても協議の段階から行政と議会、そして住民が情報を共有して進めていくべき案件ではないかと考えますが、併せて答弁を求めます。

加藤光彦 議員

問 愛知県議会12月定例議会において

石塚アポロ県議の一般質

答 ○村長

自動運転の実証実験を本村内で実施するため、名古屋大学との協定締結を視野に、関係機関と調整を行っています。

自動運転の実証実験は、あくまでもイメージとなりますが、本村の行政課題のひとつである高齢者をはじめとする皆様の移動手段の確保が主なメリットになると考えています。実証実験で培ったノウハウを基に、いずれバスやタクシーに代わる移動手段として自動運転車両を用いることができれば、高齢者の方々が気軽にお出かけできる社会を実現できるものと考えています。

まだ自動運転技術については、今後成熟していくものであり、現時点では詳細な内容の説明はできませんが、実験内容が確定した段階で、お知らせします。

Q 飛鳥村地域防災計画を問う

A 住民周知を図っていく



小川政徳 議員

問 ① 地域防災計画での液化化対策は適切か。

東日本大震災では千葉県浦安市などの埋立地において、腰の高さ1メートルほど液化化で砂を吹き上げたが、地域防災計画での液化化対策は適切なか。

東日本大震災では千葉県浦安市などの埋立地において、腰の高さ1メートルほど液化化で砂を吹き上げたが、地域防災計画での液化化対策は適切なか。

答 ○村長

本村の地域防災計画の液化化想定は、愛知県並びに本村において作成した被害想定調査の結果をもとに想定しており、適切であると考えています。

いますので、現在のところ、見直す予定はありません。

問 飛鳥村の液化化マップをより詳細なものにしてほしい。

答 ○村長

現状でも全村域が液化化する危険性が高いことを示しているため、現在の液化化マップを活用して周知していきたいと考えています。

問 そのマップで描かれる村内の液化化範囲は。

答 ○総務課長

村内のほぼ全域で危険度が最も高い状態を示しています。

問 村内各避難所への道路や橋が、液化化で崩壊してたどりつけないことが無いよう対策は考えられているのか。

答 ○村長

各避難所への経路の液化化対策については、村全域で液化化が想定される中で、全ての避難経路の液化化対策は困難と考えますので、今後は避難路確保にかかる建築物の耐震化を促進し、経路の確保に努めたいと考えています。

問 ② 台風被害、避難対策

防災情報が5段階で提供されれば、わかりやすい避難情報になるが、切迫度の確な伝達を危険度レベル1、レベル2などと分かりやすく表示して小中学生にも周知されたい。

答 ○村長

避難情報は、テレビ、ホームページ、携帯電話、同報無線など多数の方法で周知できるよう準備しています。今後

答 ○総務課長

もこれらの情報伝達手段を活用いただけるよう住民の皆様にも周知を図っていきたく考えています。

問 台風の災害ごみの処理はどうしたか。また、り災証明の発行場所は。

答 ○村長

今年の台風被害と思われる被災ごみにつきましては、通常のごみ収集と月2回の粗大ごみ申請許可により処理をしました。

また、り災証明の発行は、風水害に伴う家屋の被害については、税務課において、また火災に伴う被害については、海部南部消防本部予防課において発行を行っています。



図 3.6-3 理論上最大想定モデルの地震（陸側ケース）の液化化危険度
道路橋平方面（ce=1.0）

「飛鳥村地震被害想定調査」より

問 リ災証明を受けるとごみ焼却場へ

持っていけると聞いたが、出して良いごみ、ダメなごみはどれか。

答 ○保健環境課長
り災証明を受け

たごみは、村の指示により木材等の可燃ごみのみ八穂クリーンセンターに直接搬入いただきます。

服岡投棄場へはプラスチックごみ・スチールごみ等を分別して搬入が可能ですが、瓦・コンクリート等は搬入できません。

問 ③ブロック塀
取り壊し対策

村内の撤去予定ブロック塀はどれほどか。

答 ○村長
9月に実施した

ブロック塀調査において、取り壊しが望ましいと考えられるブロック塀が79カ所ありました。

問 取り壊すブロック塀の基準は。

答 ○建設課長
法令と照らし合

わせ、ブロック塀の高さ、塀の厚み、控え壁の有無、基礎の有無、老朽の状態などを外観目視により判断します。

○小川政徳議員

村内の住居は敷地が広

飛鳥村地域福祉活動計画

A 策定委員会等を経て
充実した計画にする



鈴木康祐 議員

問 飛鳥村地域福祉
活動計画は、飛鳥

村総合計画の中にある

「飛鳥村介護保険計画」

「飛鳥村障害者福祉計画」

「飛鳥村子ども・子育て

くて、ブロック塀も一般

の住宅よりはるかに長い。取り壊した後のフェンス設置費用も多額になるが、先に制定された解体補助金だけでなく、安全対策補助金などの増額項目を出してほしい。

地域福祉を支えるボランティア



がりの希薄化、消防団員の成り手不足、各種役員の成り手不足が誰もが認識していることであり、行政としてどう「住民一人ひとりの力」を掘り起こしていくのか、考えを聞かせてください。

また第4次総合計画の中で「住民自治基本条例」を策定するとあり「飛鳥村地域福祉活動計画」と重複するようだが、進んでいるのか。

答 ○村長
この計画は「地

域福祉計画」と合わせ、社会福祉協議会と一体的に、初めて策定をするものです。

「自助、共助、公助」を基本的な考えとし、住民のみなさんが、安全に、安心して住み慣れたところで暮らす「地域福祉の推進」を目指すものです。

「おたがいさま」の気持ちをもちながら、課題や問題等を共有・協力しあい、各種団体や会員相互の主體的な活動や、行動指針を示していきます。

社会福祉協議会等が中心となり、「誰もがで

きること」に「みんなで取り組む」という考えの基、住民一人ひとりの力を引き出し、つながりを強化し、確実に一歩ずつ進めていただきたいと考えています。

答 ○総務課長
住民自治基本条

例の制定については、今後検討します。

保育料の無料化を

A 国の制度と同步調で実施する

鈴木康祐 議員

問 20代や30代の若い世代が第2子、

3子を持たない理由は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最大の理由であり、子育てと仕事の両立や、子育て

や教育にかかる費用の負担が重いことが子育て世代への大きな負担となり、我が国の少子化問題の一因ともなっている。

このため、保育の受け皿拡大を図りつつ、幼児教育の無償化をはじめとする負担軽減措置を講じることは、安倍内閣も重要施策としているところであり、来年10月に幼児教育・保育の無償化を、国が求めている費用負担をめぐり、全国知事会・市長会・町村会で、この12月10日に国が年間1千億円を軽くする議案と、公立の幼稚園・保育所などは全額市町村、それ以外の私立の認可外保育施設・病児保育などのサービスは国2分の1、都道府県と市町村が4分の1、事務経費を国が5年以上持つことで正式に受け入れる方針が示された。

そこで聞きますが、飛島村は、いつから幼稚園・保育所のどの無償化をするのでしょうか。

10月など期の途中でするくらいなら予算編成をするこの時期にすることができるとは思いますが、村長のお考えを聞かせてください。

また、幼児教育が重要なことと捉えるなら、申し込み時に父母から提出を求めている就職証明をなくしてください。



幼保連携型認定こども園となつた飛島保育園

個人情報保護と何かにつけ、資料の開示を渋っているのに個人がどこで働いているかを把握しているようでは、住民感情に逆行しているし、子育てをする母親の負担軽減と精神的ストレスの軽減を図ることが、私は重要と認識しますが村長のお考えを聞かせてください。

答 ○村長
来年10月から実施を目指すとしていますが、具体的な手続き等については、まだ詳細な検討が行われています。

村としても、法令順守の観点から、国の動向にも注視しつつ、歩調を合わせながら、粛々と実施していきたいと考えています。

その際には「子ども・子育て支援法」また、同法施行令、施行規則等で定められている必要な手続きに準じて進めて参ります。

Q スポーツ大会の遠征費用は

A 制度を周知し、応援していく

鈴木康祐 議員

問 愛知県市町村対抗駅伝競走大会では、飛島村が町村の部で5位入賞、連続してモリコ口賞を頂く快挙を遂げています。

また個人でも中学生が全国大会で好成績を上げ、今年の村民表彰条例で表彰されるなど個人・団体での活躍が目覚ましく、「飛島村」の名を全国に行き渡らせています。

村としても、大会遠征費を補助して後押しをして頂いていますが、住民として頂けるものか、頂けないものかの判断が分かりづらく迷われている方もいるのではないのでしょうか。規約や要綱はありますか。また、選手

等派遣補助金制度により、県代表として全国大会等に出場した場合の個人・団体に対し遠征費用を助成しています。

「モチベーション」を上げるためどのような応援方法を考えているか、お答えください。

答 ○村長
競技大会の遠征費用の助成は、全国大会



平成30年度 愛知駅伝参加メンバー

スポーツでの活躍は本村にとっては、大変名誉なことであり、今後は助成制度の周知や応援方法、村民への周知の方法等について、どのような方法が良いのか検討をしていきます。

Q 65歳以上の医療費を無料化せよ

A 相互扶助の理念から自己負担をお願いする



橋本 渉 議員

問 飛島村は豊かな財政を持っている

村です。そこに住む人たちが豊かな暮らしができるように村政を進めるべきです。そのためには住民負担の軽減が必要です。その一つとして65歳以上の医療費の無料化をすべきです。

介護保険料は愛知県下で2番目に高い保険料になっています。年金は減らされ負担は増大するばかりです。こんな政治では暮らしはよくなりません。

医療費の無料化は全国的にみると長野県原村で実施しています。東京都日の出町、石川県川北町では75歳以上の医療費を無料化しています。一部無料化をしている自治体はいくつかあります。

飛島村も医療費の無料化を実施すべきです。

答 ○村長

本村の高齢者の医療費は、65歳から74歳までの方は国民健康保険制度等で、75歳以上の方は、後期高齢者医療制度に基づき、それぞれ自己負担をお願いしておりますが、今後、高齢者の人口増加が進むこと、また医療技術が高度化することに伴い、ますます医療費が増加することが予想されます。将来にわたり誰もが安心して医療を受けられるように、若者も高齢者もお互い支え合う相互扶助の理念から、65歳以上の医療費無料化につきましては、引続き自己負担をお願いする必要がありますと考えています。



老人クラブ

Q 温水プールの温度等の管理をきちんとせよ

A 管理体制を整えていく

橋本 渉 議員

問 温水プールは改修されてきれいに

なりました。

夏場は水温が上がり温泉のようでした。水は透

明度が悪くにごり水でした。改修後は水温を下げる装置が付き気持ち良い温度です。水の汚れについても、ろ過装置を変えたので夏場でもきれいな水を保つことができました。

しかし、装置が良くなっても、操作管理体制がダメです。

事務所で操作ができるようになってくるのに事務所にいる人は誰も知らない状態でした。冬場は室内温度が低く寒い状態です。

今年度から午後8時に休憩を取るようになり水から出ると、寒くておれません。水の中のほうが暖かいのです。8時の休憩はやめてほしいです。水から出たら室内温度を32度に保ってほしいです。

ロッカールームも汚く掃除が行き届いていません。プールの管理体制をきちんとすべきです。



温水プール

答 ○村長

温水プールは、1年を通じ室温31・5度に設定し、また、水温は30・5度に設定しています。25メートルプールで運動する利用者や歩行のみの利用者もあるため、体感温度は様々であります。寒いと感じられた利用者には、施設内のジャグジーや採暖室を利用して頂きたいと考えています。更衣室の汚れについては、清掃を実施してはいますが、なかなか解消できないことを考え、今後は、対応策を検討したいと考えています。

今後のプールの管理責任や運営については、役割分担を明確にして運営をしていきます。



Q 避難所の開設は

A 村内3カ所の避難所を自主避難所として順次開設します

問

今までは台風時、避難したい人は公民館へ避難するということでしたが、避難所も各地に建てられ、台風21号時は3カ所、24号では8カ所の避難所が開設されました。あくまで避難準備・避難勧告が出されていらないので自主避難ですが、いつ開設されるのか、どの避難所が開設されるのか、住民に明らかにしておくべきだと思います。いかがお考えなのかお答えください。

答

○村長

9月の台風21号・24号では、いずれも自主避難所として、村内の避難所の一部を開設しました。

自主避難所の開設は、避難勧告などの避難情報発令前であっても、災害対策本部が必要と判断した際には、自主避難所を開設することとしています。

また、自主避難所の開



新政成一時避難所

設箇所としては、村内で3カ所の避難所を自主避難所として順次開設できるように準備していきます。なお、災害の種類や規模により臨機応変に対応しなければならぬ場合もありますので、住民の方が迷われることがないよう、自主避難所の開設については、現在更新しています減災ハンドブックやホームページなどにその方針を掲載し、周知していきたいと考えています。

Q ランドセルは重すぎはしないのか

A 工夫をし、配慮している

渡邊 一弘 議員

問

子どもの健全な成長のために、重いランドセルを背負わせないように、学校に教材等を置いているという所もあると聞きました。飛鳥学園はどうなのか。対策はとられているのかお聞かせください。

答

○村長

小学校の多くの学年では、国語、算数の教科書とノート、漢字ドリルなどは持ち帰り、技術系の教科、道徳科の教科書、社会科の資料集や地図帳などは、多くの学年で学校保管としています。

そのほか、習字道具、水彩セット、裁縫セットなどは、学校保管を基本とし、家庭で使う必要の



一部の教科書や資料は学校に置いて重さを調整

ある子どもは、持ち帰るなどの工夫をしています。必要に応じて適切な配慮を講じていきます。

今後も学園では、子どもたちの携行品の重さや量について検討しながら、

Q 地域子育て支援事業の充実を求める

A ニーズ把握、持続可能性を考慮し検討を続ける



伊藤秀樹 議員

問 厚生労働省では地域子ども子育て支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）に予算を付けているが、飛島村ではこの事業実施に、どのような対応をしているか。

答 ○村長 この事業は、子育て中の保護者や地域住民が、子育てに関する日常的なサポートに対し、双方の会員を募り、お互い助け合う「相互援助事業」です。本村においても実施の可能性について検討していきます。

検討していきます。

問 具体的にどのような検討していくのか。

答 ○村長 次年度に必要なニーズを調査し、持続可能性を含め、子育て世代の住民のよりよい環境整備に努力します。

○伊藤秀樹議員
ファミリー・サポート・センター事業は難しい課題だと思いが、実現に向け、人材や必要な予算など、可能な限りの支援を要望する。



子育て支援センター パオパオキッズ

Q 青少年のスポーツ環境を整えよ

A 現状を把握し検討する

伊藤秀樹 議員

問 飛島学園では11月より平日の部活

動ができなくなったと聞く。

スポーツをしたい青少年のために、飛島学園の体育施設を開放できないか。

できなければ、公園のように自由に使える体育施設が必要ではないか

答 ○村長 海部地区においては11月から4月まで、平日は早朝か午後のどちらかの活動となっています。

飛島学園の体育施設の開放はセキュリティを考えると困難です。

村内には他にも体育施設があり、他町村に比べ充実しています。

問 冬の時期、早朝は暗く寒くて練習には適さない。他の施設は有料で自由に使えない。

答 ○教育部長 部活の練習時間は文科省のガイドラインに基づいて決められています。

答 ○生涯教育課長 スポーツ少年団として体育団体の枠の中で利用していただければ無料で利用できます。

問 無料と言っても週2回までで自由に使えるとは言えない。

答 ○生涯教育課長 現状の利用状況としては、一定のルールに基づき利用していただいています。



飛島学園体育館（アリーナ）